

## ○三重大学大学院地域イノベーション学研究科規程

(平成 21 年 3 月 30 日規程第 641 号)

改正 平成 27 年 3 月 31 日規程第 641 号 平成 29 年 3 月 30 日規程第 641 号

平成 29 年 8 月 8 日規程第 641 号 平成 30 年 3 月 30 日規程第 641 号

令和 2 年 3 月 31 日規程第 641 号 令和 3 年 3 月 31 日規程第 641 号

(趣旨)

第 1 条 三重大学大学院地域イノベーション学研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、三重大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)及び三重大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(研究科の目的)

第 2 条 研究科は、地方産業界が求める即戦力型人材であるプロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材及びソーシャル・アントレプレナー人材の育成に特化した教育・研究を展開することにより、高度な専門知識及び応用能力を持ち、創造性豊かな研究開発活動を進める高度専門職業人及び研究者を養成し、地域社会の将来を担う中核人材を育成するとともに、地方立脚型の企業及び自治体等が抱えている課題の克服に必要な学際的研究を実施し、その成果を社会に還元することを目的とする。

(博士前期課程の目的)

第 3 条 博士前期課程地域イノベーション学専攻は、専門分野における研究開発担当者として研究課題を取り巻く総合的な状況を考察し、解決策を構築していく事業化のための研究開発プロジェクトのマネジメントができる研究開発系人材並びに地域の企業及び行政において新しい価値を創り出すソーシャル・アントレプレナー人材を養成することを目的とする。

(博士後期課程の目的)

第 4 条 博士後期課程地域イノベーション学専攻は、自立した研究者として研究開発成果を基にした新規事業プランの立案からその事業化までの企画・執行・調整に関する総合的なマネジメントを行う事業化プロジェクトのマネジメントができる研究開発系人材並びに地域の企業及び行政において新しい価値を創り出すソーシャル・アントレプレナー人材を養成することを目的とする。

(入学者の選考)

第 5 条 博士前期課程及び博士後期課程の入学者の選考は、学力試験及び書類審査等を総合して行う。

2 前項の選考方法、時期等については、研究科教授会が定める。

(指導大学教員)

第 6 条 研究科の教育、研究及び論文の指導のため、指導大学教員を置く。

2 指導大学教員は、研究科担当の教授をもって充てる。ただし、必要があるときは、准教授をもって充てることができる。

(授業科目及び単位数)

第 7 条 博士前期課程における授業科目及び単位数は、別表第 1 のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修方法)

第8条 学生は、指導大学教員の指導のもとに、博士前期課程においては、別表第1に定める履修方法により、38単位以上を、博士後期課程においては、別表第2に定める履修方法により、22単位以上を修得しなければならない。

2 学生の履修に関する特例は、別に定める。

(履修科目の届出)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目を、所定の期日までに、研究科長に届出なければならない。

(単位認定)

第10条 各授業科目の単位認定は、試験又は研究報告により、授業科目担当大学教員が行う。

(試験)

第11条 試験は、筆記又は口頭とし、授業科目の終了する学期末に行う。ただし、授業科目によっては、適当な時期に行うことがある。

(追試験)

第12条 学生が、疾病その他やむを得ない理由により、正規の試験を受けることができなかった場合は、願い出により、追試験を行うことがある。

(成績評価)

第13条 履修した授業科目の成績は、AA・A・B・C・Dの評語で表し、AA・A・B・Cを合格とする。

(学位論文提出資格)

第14条 博士前期課程の学生で、別表第1に定める授業科目38単位以上を修得又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

2 博士後期課程の学生で、別表第2に定める授業科目22単位以上を修得又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

3 前項の規定にかかわらず、大学院学則第45条の規定により、学位授与を申請する者は、学位論文を提出することができる。

4 前項の申請者の資格その他については、別に定める。

(最終試験)

第15条 博士前期課程及び博士後期課程の最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、所定の学位論文を提出した者について行う。

2 最終試験は、学位論文を中心として、これに関連する科目について、口頭又は筆記により行う。

(再入学及び転入学)

第16条 三重大学大学院学則第22条各号のいずれかに該当する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て、入学を許可することがある。

(雑則)

第 17 条 この規程に定めるもののほか，研究科に関し必要な事項は，研究科教授会が定める。

附 則

この規程は，平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 3 月 31 日規程第 641 号)

- 1 この規程は，平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前の入学者については，改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 3 月 30 日規程第 641 号)

- 1 この規程は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については，改正後の規程別表第 1 の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 8 月 8 日規程第 641 号)

この規程は，平成 29 年 8 月 8 日から施行する。

附 則(平成 30 年 3 月 30 日規程第 641 号)

- 1 この規程は，平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については，改正後の規程別表第 1 の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日規程第 641 号)

この規程は，令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 3 年 3 月 31 日規程第 641 号)

この規程は，令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1(第 7 条，第 8 条，第 14 条関係)

博士前期課程授業科目及び単位数

専攻	ユニット	科目 等区 分	授業科目	単位 数		備考
				必 修	選 択	
地域イノベーション学専攻	全ユニット	共通科目	基礎科学特論	2		履修方法 共通科目 14 単位以上 (1) 必修科目 12 単位
			地域イノベーション学	2		

			基礎特論			(2) 選択科目 2 単位以上
			地域イノベーション実践特論	2		
			プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	2		
			プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	2		
			企業経営特論	1		
			研究開発倫理特論	1		
			国際コミュニケーションⅠ		1	
			国際コミュニケーションⅡ		1	
			英語口頭発表		1	
			英語論文作成		1	
		専門科目	インターンシップ研修Ⅰ		4	履修方法 専門科目 14 単位以上 (1) 必修科目 10 単位 (2) 選択必修科目 4 単位 ア) インターンシップ研修Ⅰまたは社会連携実践より 4 単位選択
			社会連携実践		4	
			インターンシップ研修Ⅱ		4	
			特別研究Ⅰ	4		
			特別研究Ⅱ	6		
	工学イノベーション	専門科目	工学基礎特論		2	履修方法 専門科目 10 単位以上 (1) 選択科目 10 単位以上 ア) 全てのユニットの特論から 8 単位以上を選択, ただし所属ユニッ
			工学知的財産特論		2	
			工学イノベーション特		2	

			論Ⅰ			トの特論から4単位以上を選択 イ) インターンシップ研修Ⅱを選択した場合は、所属ユニットの特論から4単位以上を選択 ウ) 全てのユニットの専門英語から2単位以上を選択
			工学イノベーション特論Ⅱ		2	
			工学イノベーション特論Ⅲ		2	
			工学イノベーション特論Ⅳ		2	
			工学イノベーション特論Ⅴ		2	
			工学イノベーション特論Ⅵ		2	
			工学イノベーション専門英語Ⅰ		2	
			工学イノベーション専門英語Ⅱ		2	
			工学イノベーション専門英語Ⅲ		2	
			工学イノベーション専門英語Ⅳ		2	
	バイオイノベーション	専門科目	バイオ基礎特論		2	
			バイオ知的財産特論		2	
			バイオイノベーション特論Ⅰ		2	
			バイオイノベーション特論Ⅱ		2	
			バイオイノベーション		2	

			特論Ⅲ		
			バイオイノベーション 特論Ⅳ	2	
			バイオイノベーション 特論Ⅴ	2	
			バイオイノベーション 特論Ⅵ	2	
			バイオイノベーション 特論Ⅶ	2	
			バイオイノベーション 特論Ⅷ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅰ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅱ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅲ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅳ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅴ	2	
			バイオイノベーション 専門英語Ⅵ	2	
	社会イノベーション	専門科目	社会経営基礎特論	2	
			社会イノベーション特論Ⅰ	2	
			社会イノベ	2	

			一シヨン特論Ⅱ			
			社会イノベーション特論Ⅲ		2	
			社会イノベーション特論Ⅳ		2	
			社会イノベーション特論Ⅴ		2	
			社会イノベーション特論Ⅵ		2	
			大学マネジメント基礎論		2	
			地域連携特論Ⅰ		1	
			地域連携特論Ⅱ		1	
			社会イノベーション専門英語Ⅰ		2	
			社会イノベーション専門英語Ⅱ		2	
			社会イノベーション専門英語Ⅲ		2	
		合計		22	96	

別表第2(第7条, 第8条, 第14条関係)

博士後期課程授業科目及び単位数

専攻	ユニット	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
地域イノベーション学専攻	地域新創造ユニット	地域新創造マネジメント特論Ⅰ	2		履修方法 1 必修科目 14

		地域新創造マネジメント 特論Ⅱ	2		単位 2 選択科目 8 単位以上
		地域イノベーション学演 習	1		
		グローバルコミュニケー ション演習	1		
		工学イノベーション実践 特論		2	
		バイオイノベーション実 践特論		2	
		社会イノベーション実践 特論		2	
		地域新創造特論Ⅰ		2	
		地域新創造特論Ⅱ		2	
		地域新創造特論Ⅲ		2	
		地域新創造特論Ⅳ		2	
		地域新創造特論Ⅴ		2	
		地域新創造特論Ⅵ		2	
		地域新創造特論Ⅶ		2	
		地域新創造特論Ⅷ		2	
		地域新創造特論Ⅸ		2	
		地域新創造特論Ⅹ		2	
		地域新創造特論Ⅺ		2	
		地域新創造特論Ⅻ		2	
		インターンシップ研修		2	
		特別研究	8		
		合計	14	32	